

Press Release

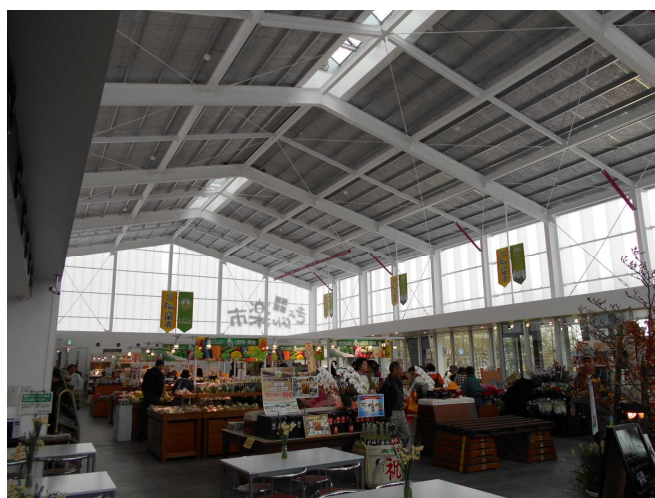


2016年4月27日

コベストロジャパン株式会社

タキロンがポリカーボネート複層板を用いた取り組みで 「低炭素杯 2016」環境大臣賞（企業部門 金賞）を受賞

- 断熱性能と採光性能によって省エネを推進
- コベストロの材料はサステナビリティに貢献



コベストロジャパン株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：米丸公康）が長年のパートナーとして連携しているタキロン株式会社（本社：大阪府北区 代表取締役社長：兵頭克盛）が「低炭素杯 2016」において企業部門の最優秀賞となる環境大臣賞（企業部門金賞）を受賞しました。低炭素杯は、次世代に向けた低炭素な社会の構築を目指し、企業や学校、地域が取り組む地球温暖化防止に関する活動を表彰する制度で、今年で6回目を迎えました。

タキロンがプレゼンした「昼光利用による建築物の低炭素化の推進」は、高断熱で採光性に優れたポリカーボネート複層板「ルメカーボシステム」を建物の開口部に設置して自然光を取り入れることにより、昼間の照明量や空調負荷を削減する省エネへの取り組みが評価されました。



「この度、重要なパートナーのタキロンが低炭素杯 2016 で環境大臣賞を受賞されましたこと、心からお祝い申し上げます。建物の明り取りには従来、ガラスが使用されていますが、ポリカーボネート複層板も耐衝撃性、断熱性能、そして超軽量という優れた特性をもち、様々な建築用途に採用されています。コベストロのビジョン『To make the world a brighter place』もと、私たちは人々の生活を向上し、地球環境を保護し、お客様やパートナーに価値を創造する製品やプロセスを開発して持続可能性を推進しています。タキロンが受賞された製品はその好例です。」とコベストロ日本代表の米丸公康は述べています。

.....
タキロン株式会社について

タキロンは 1919 年セルロイド製造工場として創業。以来、現在に至るまで、社会の発展とともに広がるニーズに応えるべく、時代を先取りしたプラスチック技術を結集し、独自の技術革新から高機能材料、建築・土木資材さらにはメディカル材料等、数々の高品質な製品を世に送り出してきました。こうした経営活動を通して、これからも地球環境保護と社会に貢献し「プラスチックテクノロジーで豊かな生活環境を創造する。」を使命として企業活動を推進しております。

コベストロ社について

コベストロ社は 2015 年度売上高が 121 億ユーロの世界最大のポリマー製造企業のひとつです。主たる活動分野は、高機能ポリマー材料の生産、および日常生活の多くの分野で使用されている製品の革新的ソリューションの開発です。主要な顧客は、自動車、電気／電子、建築、スポーツ・レジャーの各産業です。コベストロ（旧バイエル マテリアルサイエンス社）は 2015 年末現在、世界中の 30 拠点に生産施設があり、社員数は 15,800 人です。詳しくはこちらをご覧ください。 covestro.jp

【この件に関するお問い合わせ先】

コベストロジャパン株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビル 23F

広報部 梅澤 Tel:03-6250-7079 / Fax:03-5219-9706

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、コベストログループによる現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれている可能性があります。さまざまな既知・未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因にはコベストロのウェブサイト (www.covestro.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。コベストロは、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負うものではありません。